



7 単元計画

「単元を貫く問い」相手の意図や考えを理解し、それに対して自分の意志や考えを伝える。

	言語活動	学習内容 ◇単位時間内のめあて	評価規準 形・…形成的評価	見方・考え方を働かせている生徒の姿
1	二者択一の質問に対して、自分の立場を明らかにし、理由を加えて、ペアで伝え合う活動。⇒書く活動へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本単元の見通しを持つ</li> <li>○ 教員のモデル文を見て、単元のゴールイメージを持つ。</li> <li>○ 比較表現の復習をする。</li> <li>◇ 二者択一の質問に対して、自分の立場を明らかにし理由を加えて 40 語以上で書くことができる。</li> <li>① 教科書本文の内容を理解する</li> <li>② Speaking (相手を変えて2回やりとりを行う)</li> <li>③ Writing (伝えたいことを整理して、書く)</li> <li>④ Sharing (書いたものを読んで、editor check をする。いいと思う文章に線を引く)</li> </ul>	<p>1 時間目から5時間まで記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないようにする。</p> <p><b>【目指す子どもの姿】</b> I think summer is better than winter. I have two reasons. First, we have a long vacation. So, we can travel. Winter vacation is not long enough for traveling. Second, summer is hot, so we can go to the swimming pool or the sea. So, I think summer is better than winter. (51 words)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達とよくどっちがいいか話しているな。英語でも伝えられるようになりたいな。</li> <li>・ 自分の考えを理由を加えて書いて、お互いの考えが分かっただけいいな。</li> </ul>
2	school uniforms の違いを読み、立場を明らかにし、理由を加えてペアで伝え合う活動⇒書く活動へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時のふりかえり</li> <li>① 英文の語順の復習 (前時で言いたかった表現)</li> <li>② フォーマットの確認</li> <li>◇ School uniforms の違いを読み、ペアとのやりとりを通して、立場を明らかにし理由を加えて 50 語程度で書くことができる。</li> <li>② 提示文の内容理解</li> <li>② Keywords (自分の立場を明らかにし、理由をキーワードで書き出す)</li> <li>③ Sharing① (学習班になり、自分たちの意見をシェアする)</li> <li>④ Writing (伝えたいことを整理して、書く)</li> <li>⑤ Sharing② (お互いの意見文を読みあう) (editor check)</li> </ul>	<p>アメリカと日本の中学校の制服のルールについて読み、どちらに通いたい材料を用いながら、自分の考えをまとまりのある文章で書いている。形</p> <p><b>【目指す子どもの姿】</b> I think Japanese schools are better than American schools. I have two reasons. First, we have school uniforms. So it's easy to be ready. Many American schools don't have them. Second, we can reuse our school uniforms if we have brothers or sisters. Our parents don't need to pay money for new clothes. So I think Japanese schools are better than American schools. (60 words)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国によって違いがあるな。資料の言葉を用いて、それを基に自分の考えを書いたら、自分の考えと友達の考えを理解できるな。</li> </ul>
3	school lunch の違いを読み、立場を明らかにし、理由を加えてペアで伝え合う活動⇒書く活動へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時のふりかえり</li> <li>① 英文の語順の復習 (前時で言いたかった表現)</li> <li>② 助動詞の復習</li> <li>◇ School lunch の違いを読み、ペアとのやりとりを通して、立場を明らかにし理由を加えて 60 語程度で書くことができる。</li> <li>② 提示文の内容理解</li> <li>② Keywords (自分の立場を明らかにし、理由をキーワードで書き出す)</li> <li>③ Sharing① (学習班になり、自分たちの意見をシェアする)</li> <li>④ Writing (伝えたいことを整理して、書く)</li> <li>⑤ Sharing② (お互いの意見文を読みあう) (editor check)</li> </ul>	<p>アメリカと日本の中学校の昼食について読み、どちらに通いたい材料を用いながら、自分の考えをまとまりのある文章で書いている。形</p> <p><b>【目指す子どもの姿】</b> I think American schools are better than Japanese schools. First, they can choose their favorite food. They can eat only their favorite food a lot. Second, they can eat lunch at the café so they can eat it with their friends. In Japan, we have to eat lunch in our classrooms. So I think American schools are better than Japanese schools. (62 words)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国によって違いがあるな。資料の言葉を用いて、それに加えて自分の気持ちや考えを加えたら、より自分の考えが伝わりやすいな。</li> </ul>
4	school time schedule の違いを読み、立場を明らかにし、理由を加えてペアで伝え合う活動⇒書く活動へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時のふりかえり</li> <li>① 英文の語順の復習 (前時で言いたかった表現)</li> <li>② 前時に書いたものを全体で Sharing する</li> <li>◇ School time schedule の違いを読み、ペアとのやりとりを通して、立場を明らかにし理由を加えて 60 語程度で書くことができる。</li> <li>① 提示文の内容理解</li> <li>② Keywords (自分の立場を明らかにし、理由をキーワードで書き出す)</li> <li>③ Sharing① (学習班になり、自分たちの意見をシェアする)</li> <li>④ Sharing② (班で出した意見を全体でシェアし、再度考えを整理する)</li> <li>⑤ Writing (伝えたいことを整理して、書く)</li> <li>⑥ Sharing③ (お互いの意見文を読みあう) (editor check)</li> </ul>	<p>比較表現を用いて、自分の立場を明らかにし、アメリカと日本の中学校の一日の流れについて読み、資料を用いて二つを比較しながら自分の考えをまとまりのある文章で書いている。形</p> <p><b>【目指す子どもの姿】</b> I think Japanese schools are better than American schools. I have two reasons. First, we have a ten-minute break for each class. In America, there are only four-minute break. I think that it is too short to prepare for the next class. Second, we have our own textbooks. We can use it at home too. So, I think that Japanese schools are better than American schools. (64 words)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両方のよいところやよくないところを混ぜながら意見を書いたら、もっと自分の考えが伝わりやすいかな。</li> </ul>
5	club activities and school events の違いを読み、立場を明らかにし、理由を加えてペアで伝え合う活動⇒書く活動へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時のふりかえり</li> <li>① 英文の語順の復習 (前時で言いたかった表現)</li> <li>② 前時に書いたものを全体で Sharing する</li> <li>◇ School time schedule の違いを読み、ペアとのやりとりを通して、立場を明らかにし理由を加えて 60 語程度で書くことができる①</li> <li>① 提示文の内容理解</li> <li>② Keywords① (学習班として立場を明らかにし、理由をキーワードで書き出す)</li> <li>③ Sharing① (各班で出したキーワードを発表し、全体でシェアする⇒板書)</li> <li>④ Keywords② (自分の立場を明らかにし、理由を整理する)</li> <li>⑤ 発表・意見交換 (学習班になり自分の考えを友達に伝えあい、それぞれの立場の理由を知る ⇒ メモする)</li> <li>⑥ 再構築 (意志が伝わっている内容になっているか等、ペアでやりとりした内容を含め、情報を書き加える⇒考えを再構築する)</li> <li>⑦ Writing (伝えたいことを整理して、書く ※次時で完成)</li> </ul>	<p>比較表現の用法や文の構造を理解し、日本とアメリカの中学校の違いなどについて、比較表現等の簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。(知識・技能)</p> <p><b>【目指す子どもの姿】</b> I think Japanese schools are better than American schools. I have two reasons. First, we have Sports Day and Chorus Concert in Japan. We can enjoy running and cheering with teammate. American schools don't have them. Second, we can do the club for 3 years. We will be good at doing them. So, I think Japanese schools are better than American schools. (62 words)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えだけにとらわれずに、友達の考えを聞き、再度自分の意見を見直すことで考えを広げ深めることができるな。</li> <li>・ 同じことを学んできたのに、考え方は人それぞれかもしれない。読んでみたい。</li> </ul>
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 前時でのやりとりを通して構成した「あなただったら日本とアメリカの学校では、どちらに通いたいか」について、まとまりのある文章を書くことができる。⇒読み合う。</li> <li>○ もっと書き加えられないか追加質問をもらう。</li> <li>○ 班で書いたものを交換し、読みあい、コメントをもらう。どの文を母親に送るかを、理由も加えながら決定する。</li> </ul>		
7 (本時)	「あなただったら日本とアメリカの中学校では、どちらに通いたいか」というトピックについて、クラスの仲間の考えを理解し、それに対して自分の意志や考えを伝えることを通して、根拠や理由がより明確なまとまりのある文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「あなただったら日本とアメリカの中学校では、どちらに通いたいか」について、まとまりのある文章を書くことができる。</li> <li>① 今まで扱ってきた「違い」について書かれた文章を確認する</li> <li>② Keywords① (学習班として立場を明らかにし、理由をキーワードで書き出す)</li> <li>③ Sharing① (各班で出したキーワードを発表し、全体でシェアする⇒板書)</li> <li>④ Keywords② (自分の立場を明らかにし、理由を整理する)</li> <li>⑤ 発表・意見交換 (学習班になり自分の考えを友達に伝えあい、それぞれの立場の理由を知る ⇒ メモする)</li> <li>⑥ 再構築 (意志が伝わっている内容になっているか等、ペアでやりとりした内容を含め、情報を書き加える⇒考えを再構築する)</li> <li>⑦ Writing (伝えたいことを整理して、書く ※次時で完成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自分にとって日本の中学校とアメリカの中学校では、どちらに通いたいか」というトピックについて、クラスの仲間の考えを理解し、それに対して自分の意志や考えを伝えることを通して、根拠や理由がより明確な60語程度のまとまりのある文で書いている / 書くようとしている (思考・判断・表現) (態度)</li> </ul> <p><b>【目指す子どもの姿】</b> I think American schools are better than Japanese schools. I have two reasons. First, they don't have to clean their classrooms. Students have more free time after school. We have to clean our schools. Second, they can eat lunch at the cafeteria and they can choose their favorite foods. It is more fun for junior high school students. So, I think American schools are better than Japanese schools. (67 words)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入、本論、結論の構成で書く相手にもわかりやすく書ける。理由には事実や経験を入れると読み手が共感して読んでくれるな。</li> <li>・ マッピング上のキーワードを短時間で整理したり、フォーマットを見なくても文の構成ができるようになってきたな。</li> <li>・ 単語や文法のミスが少し減ってきた。主語を忘れずに書けるようになってきた。</li> </ul>
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 前時でのやりとりを通して構成した「あなただったら日本とアメリカの中学校では、どちらに通いたいか」について、まとまりのある文章を書くことができる。⇒読み合う。</li> <li>○ もっと書き加えられないか追加質問をもらう。</li> <li>○ 班で書いたものを交換し、読みあい、コメントをもらう。どの文を母親に送るかを、理由も加えながら決定する。</li> </ul>		

【単元終了後】

【目指す生徒の姿】

既習の知識、技能、体験を基にして相手に配慮し自分の考えを理由や根拠を加えながら、まとまりのある文章で書くことができる。また、書き表したものをペアやグループになって聞いてもらったり読んでもらったりしながら、伝えたい内容を深めより良いものへ再構築しようとしている。